

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

コンクリート構造物工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- コンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、コンクリートの品質（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量、単位水量、7ル骨材反応抑制等）が確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- コンクリートの打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
- コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- スパ-サの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）
- その他 理由：

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

3. 出来形及び出来ばえ

III. 出来ばえ

コンクリート構造物工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- コンクリート構造物の肌が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- クラックがない。
- 漏水がない。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・ a
- 該当4項目・・・・・・ b
- 該当3項目・・・・・・ c
- 該当2項目以下・・・ d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

切土工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
- 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。
- 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
- 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
- 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
- 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
- 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。
- CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。
- 法面に有害な亀裂が無い。
- 伐除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 切土工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 規定された勾配が確保されている。
- 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石が除去されている等、適切に施工されている。
- 法面勾配の変化部について、干渉部を設けるなど適切に施工されている。
- 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行われている。
- 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。
- 全体的な美観が良い。
- 残土等は適切に処理されている。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・・・・b
- 該当3項目・・・・・・c
- 該当2項目以下・・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

土工事（盛土、築堤工事等）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

対象【評価対象項目】

- 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
- 段切りを設計図書に基づき行っていることが確認できる。
- 置換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
- 締め固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。
- 芝付け及び種子吹付を設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
- 構造物周辺の締め固めを設計図書に定められた条件で行っていることが確認できる。
- 土羽土の土質が設計図書を満足していることが確認できる。
- CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。
- 法面に有害な亀裂が無い。
- 伐間除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C	C
	60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 土工事（盛土、築堤等工事）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該対象【評価対象項目】

- 仕上げが良い。
- 通りが良い。
- 天端及び端部の仕上げが良い。
- 構造物へのすりつけ等が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目・・・・・・b
- 該当2項目・・・・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

護岸・根固・水制工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- 裏込材及び胴込めコンクリートの締固めを、空隙が生じないように十分に行っていることが確認できる。
- 緑化ブロック、石積（張）、法枠、かごマット等における材料のかみ合わせ又は連結が、裏込材の吸い出しが無いよう行っていることが確認できる。
- 石積（張）工において、大きさ及び重さが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 護岸工の端部や曲線部の処理が適切であり、必要な強度及び水密性を確保していることが確認できる。
- 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 植生工で、植生の種類、品質、配合、施工後の養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 根固工、水制工、沈床工、捨石工等において、材料の連結及びかみ合わせが設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。
- 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。
- コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。
- 施工にあたって、床掘箇所湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。
- 埋戻し材料について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

護岸・根固・水制工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該象 当 【評価対象項目】

- 通りがよい。
- 材料のかみ合わせがよく、クラックが無い。
- 天端、端部の仕上げが良い。
- 既設構造物とのすりつけがよい。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目・・・・・・b
- 該当2項目・・・・・・c
- 該当1項目以下・・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況 (評価値) から判断する。 <判断基準参照>

象 当 【評価対象項目】

[工場製作関係]

- 鋼材の種類を、品質を証明する書類又は現物により照合していることが確認できる。
- 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 溶接作業にあたり、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。
- 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細やかに製作していることが確認できる。
- 欠陥部の発生が見られないことが確認できる。
- 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。
- 素地調整を行う場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。
- 塗装の空缶管理について、写真等で確実に空であることが確認できる。
- 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
- その他 理由：

[架設関係]

- ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。
- ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- 高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。
- 高力ボルトの品質が、証明書類で確認できる。
- 支承の据付で、コンクリート面の「フリンジ」及び仕上げ面に水切勾配がついていることが確認できる。
- 架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。
- 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有していることが確認できる。
- 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行っていることが確認できる。
- 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行っていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目 (評価値) だけで評価する。

III. 出来ばえ

鋼橋工事 (RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる)

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 表面に補修箇所が無い。
- 部材表面に傷及び錆が無い。
- 溶接に均一性がある。
- 塗装に均一性がある。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目・・・b
- 該当2項目・・・c
- 該当1項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

〔 共通 〕

- コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、7日加水反応抑制等）が確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
- 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）
- その他 理由：

〔 砂防構造物工事に適用 〕

- コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- アンカの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。
- ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

〔 地すべり対策工事（抑圧杭・集水井戸工事を含む） 〕

- アンカの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ライフレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
- ライフレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
- 集・排水ボリソク工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。
- その他 理由：

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少くばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- コンクリート構造物の表面状態が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- クラックが無い。
- 漏水がない。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・・・・b
- 該当3項目・・・・・・c
- 該当2項目以下・・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

地滑り防止工事（集水井工事を含む）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

〔 共通 〕

- コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、7日加水反応抑制等）が確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理しており、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っている。
- 地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋及び鋼材の品質が、証明書類で確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする）
- その他 理由：

〔 砂防構造物工事に適用 〕

- コンクリート打設までさび、どろ、油等の有害物が、鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 施工面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- アンカの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ボルトの締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。
- ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。
- その他 理由：

〔 地すべり対策工事（抑止杭・集水井戸工事を含む） 〕

- アンカの施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ライフレートの組み立てにあたり、偏心と歪みに配慮して施工していることが確認できる。
- ライフレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。
- 集・排水ボ・リング工の方向及び角度が、適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

地滑り防止工事（集水井工事を含む）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 地山との取り合いが良い。
- 天端、端部の仕上げが良い。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当3項目以上・・・ a
- 該当2項目・・・・・・ b
- 該当1項目・・・・・・ c
- 該当項目なし・・・ d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

[路床・路盤工関係]

- 設計図書に定められた試験方法でCBR値を測定していることが確認できる。
- 路床及び路盤工のブルローリングを行っていることが確認できる。
- 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。
- 路盤の施工に先立って、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
- 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンパ等の小型締固め機械等により施工していることが確認できる。
- その他 理由：

[アスファルト舗装工関係]

- アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
- 舗装工の施工にあたって、上層路盤の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。
- ブラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
- 舗設後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 各層の継ぎ目の位置が、設計図書に定められた数値以上であることが確認できる。
- 縦継目及び横継目の位置、構造物との接合面の処理等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- アスファルト混合物の運搬及び舗設にあたって、気象条件を配慮していることが確認できる。
- 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

[コンクリート舗装工関係]

- コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・W/C・最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。
- 舗装工の施工に先立って、上層路盤の浮き石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
- チャー及びタイガーを損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 舗装の平坦性が良い。
- 構造物の通りが良い。
- 端部処理が良い。
- 構造物へのすりつけ等が良い。
- 雨水処理が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

〔 共通 〕

- 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。（特に法枠工、コンクリート又は珪砂吹付工関係）
- 施工に際して、品質に害となる施工面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。
- 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締め固めを十分行っていることが確認できる。
- 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。
- その他 理由：

〔 種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工関係 〕

- 土壌試験の結果を施工に反映していることが確認できる。
- ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。
- ネットなどが破損を生じていないことが確認できる。
- 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
- 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

〔 コンクリート又は珪砂吹付工関係 〕

- 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 金網の重ね幅が、10cm以上確保されていることが確認できる。
- 金網のが破損を生じていないことが確認できる。
- 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。
- 吹付け厚さが均等であることが確認できる。
- 吹付け厚さに応じて2層以上に分割して施工していることが確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
- 法肩の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。
- その他 理由：

〔 現場打法枠工関係（プレキャスト法枠工含む） 〕

- 使用する材料の種類、品質及び配合が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。
- 現場養生が、設計図書の仕様を満足するように実施されていることが確認できる。
- 強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 枠内に空隙が無いことが確認できる。
- 層間にはく離が無いことが確認できる。
- 不良箇所が生じないよう跳ね返り材料の処理を行っていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 通りが良い。
- 植生、吹付等の状態が均一である。
- 端部処理が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当3項目以上・・・ a
- 該当2項目・・・・・・ b
- 該当1項目・・・・・・ c
- 該当項目なし・・・ d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- [杭関係（コンクリート・鋼管・鋼管井筒、場所打、深礎等）]
- 杭に損傷及び補修痕が無いことが確認できる。
- 既設杭の打止め管理の方法及び場所打杭の施工管理の方法が整備されており、その記録を整理していることが確認できる。
- 杭頭処理において、杭本体を損傷していないことが確認できる。
- 水平度、鉛直度等が、設計図書を満足していることが確認できる。
- 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。
- 場所打杭について、トレミー管をコンクリート内に2m以上挿入して施工していることが確認できる。
- 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度並びに比重等が、設計図書を満足していることが確認できる。
- 配筋、スパーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ライナープレートの組立にあたり、偏心と歪みに配慮していることが確認できる。
- 裏込材注入の圧力などが施工記録により確認できる。
- 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当目数() / 評価対象目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。

[地盤改良関係]

- 改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- セメントミルクの比重、スラリー噴出量、強度等の管理資料を整理していることが確認できる。
- 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っていることが確認できる。
- 施工箇所が均一に改良されるとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。
- その他 理由：

[関連基準、土工工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 基礎工事（地盤改良等を含む）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 土工関係の仕上げが良い。
- 通りが良い。
- 端部、天端仕上げが良い。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 地盤改良である。（地盤改良の場合、ここだけチェックする。）

●判断基準

該当3項目以上・・・ a

該当2項目・・・ b

該当1項目・・・ c

該当項目なし・・・ d

※地盤改良はc評価とする。

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

海岸工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

対象【評価対象項目】

- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 運搬、打設、締め固めが、気象条件に適しており、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- コンクリートブロックの転置及び仮置にあたって、強度確認を行っている。
- 転倒や崩壊等が無いようコンクリートブロックの仮置を行っていることが確認できる。
- 捨石基礎の均し面を平坦に仕上げていることが確認できる。
- 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。
- 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C	C
	60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

海岸工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該対象【評価対象項目】

- コンクリート構造物の表面状態が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- クラックが無い。
- 漏水が無い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

コンクリート橋上部工事 (PC及びRCを対象)

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む)
- コンクリートの圧縮強度を管理して、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。
- 鉄筋の引張強度及び曲げ強度の試験値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- コンクリート打設までにさび、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 鉄筋の組立及び加工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 養生の品質及び個数が、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- プレキャストのプレキャスト管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 使用する装置及び機器のキャリブレーションを事前に実施していることが確認できる。
- PC鋼材の緊張及びグラウト注入管理値が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- プレストレッグ時のコンクリート強度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- コンクリート圧縮強度の確認は、構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いていることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。(「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする。)
- その他 理由:

① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
 ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
 ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
 ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。

III. 出来ばえ コンクリート橋上部工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- コンクリート構造物の表面状態が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- 支承部の仕上げが良い。
- クラックが無い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

塗装工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 塗装作業にあたり、塗布面を十分に乾燥させて施工していることが確認できる。
- ケレンを入念に実施していることが確認できる。
- 天候状況の確認、気温及び湿度の測定を行い、塗装作業を行っていることが確認できる。
- 塗料を使用前に攪拌し、容器の塗料を均一な状態にしてから使用していることが確認できる。
- 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っていることが確認できる。
- 塗料の空缶管理について写真等で確実に空であることが確認できる。
- 塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。
- 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。
- 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4 参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 塗装工事（工場塗装を除く）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 塗装の均一性が良い。
- 細部まできめ細かな施工がされている。
- 補修箇所が無い。
- ケレンの施工状況が良好である。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目・・・・・・b
- 該当2項目・・・・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

トンネル工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

対象【評価対象項目】

- コングリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質（強度・W/C、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等）が確認できる。
- コングリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 吹付コンクリートの配合及びロックアップの種別、規格が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 設計図書に定められた岩区分（支保工パターン含む）の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。
- 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 計測管理を日々行っており、その結果に基づいた施工を行っていることが確認できる。
- 金網の継ぎ目を15cm以上重ね合わせて施工していることが確認できる。
- 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の暑さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。
- 吹付コンクリートを打継ぎする場合は、吹付完了面を清掃した上、潤滑状態で施工していることが確認できる。
- ロックアップの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 防水工に防水シートを仕様する場合は、ロックアップ等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。
- 逆巻の場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継ぎが同一線上にないことが確認できる。
- その他理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

トンネル工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

- 対該対象【評価対象項目】
- コンクリート構造物の表面状態が良い。
 - コンクリート構造物の通りが良い。
 - 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
 - クラックが無い。
 - 漏水が無い。
 - 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

植栽工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 活着が促されるよう管理していることが確認できる。
- 樹木などに損傷、はちくずれ等が無いよう保護養生を行っていることが確認できる。
- 樹木等の生育に害のある害虫等がないことが確認できる。
- 施工完了後、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れを行っていることが確認できる。
- 肥料が直接樹木の根にふれないよう均一に施肥していることが確認できる。
- 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。
- 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。
- 樹名板を視認しやすい場所に据付けていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 植栽工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 樹木の活着状況が良い。
- 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。
- 支柱の取り付けが堅固である。
- 植栽帯の全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当3項目以上・・・a
- 該当2項目・・・・・・b
- 該当1項目・・・・・・c
- 該当項目なし・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

防護柵（網）工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
- 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
- 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
- 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
- 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。
- 防護柵の支柱の根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えているのが確認できる。
- ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該象 当 【評価対象項目】

- 通りが良い。
- 端部処理が良い。
- 部材表面に傷及び錆がない。
- 既設構造物等とのすりつけが良い。
- きめ細やかな施工がなされている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

標識工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
- 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。
- 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足していることが確認できる。
- 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面へ影響が無いよう施工していることが確認できる。
- 基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

標識工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 設置位置に配慮がある。
- 標識の向き並びに角度及びその支柱の通りが良い。
- 標識板の支柱に変色が無い。
- 支柱基礎が入念に埋め戻されている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目・・・・・・b
- 該当2項目・・・・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

区画線工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。
- ペイント式（常温式）区画線に使用するシナーの使用量が、10%以下であることが確認できる。
- 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。
- 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
- プライマーの施工にあたって、路面に均等に塗布していることが確認できる。
- 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

区画線工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 塗料の塗布が均一である。
- 視認性が良い。
- 接着状態が良い。
- 施工前の清掃が入念に実施されている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

該当4項目以上・・・a

該当3項目・・・b

該当2項目・・・c

該当1項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

対象【評価対象項目】

- 指定材料の規格が、品質を証明する書類で確認できる。
- 管路の通過試験を行っており、試験結果から全箇所が導通していることが確認できる。
- プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、7/7mm混合物の温度管理が記録していることが確認できる。
- 特殊部の施工基面の支持力が、均等となるようにかつ不陸が無いように仕上げていることが確認できる。
- 特殊部等の施工において、隣接する各ブロックに目違いによる段差及び蛇行等が無いよう敷設していることが確認できる。
- 埋戻しにおいて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 舗装の復旧等が適時行われ、路面の沈下や不陸が無く平坦性を確保していることが確認できる。
- 管枕及び埋設シートの設置及び土被りが、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 管設置において、それぞれの管の最小曲げ半径を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

電線共同溝工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該対象【評価対象項目】

- 歩道及び車道の舗装（含、仮復旧舗装）の勾配が適切で、有害な段差が無く平坦性が確保されている。
- プレキャストコンクリートブロックの蓋に、がたつきや不要な隙間が生じていない。
- 施工管理記録などから、不可視部分の出来映えの良さがうかがえる。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当3項目以上・・・ a
- 該当2項目・・・ b
- 該当1項目・・・ c
- 該当項目なし・・・ d

3. 出来形及び出来ばえ

Ⅱ. 品質

維持工事（清掃工、除草工、付属物工、除雪、応急処理等）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>対 該 象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適時・的確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>※ 該当項目が6項目以上・・・ a</p> <p>※ 該当項目が5項目・・・ a'</p> <p>※ 該当項目が4項目・・・ b</p> <p>※ 該当項目が3項目・・・ b'</p> <p>※ 該当項目が2項目以下・・・ c</p> <p>注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。 ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>						

Ⅲ. 出来ばえ 維持工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
<p>対 該 象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小構造物等にも細心の注意が払われている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 既設構造物とのすりつけが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当3項目以上・・・ a</p> <p>該当2項目・・・ b</p> <p>該当1項目・・・ c</p> <p>該当項目なし・・・ d</p>			

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

修繕工事（橋脚補強、耐震補強、落橋防止等）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対 該
象 当 【評価対象項目】

使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適時・的確に行っていることが確認できる。

構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。

監督職員の指示事項に対して、現場状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。

施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。

理由：

理由：

理由：

理由：

●判断基準

※ 該当項目が6項目以上・・・ a

※ 該当項目が5項目・・・ a'

※ 該当項目が4項目・・・ b

※ 該当項目が3項目・・・ b'

※ 該当項目が2項目以下・・・ c

注 記載の4項目を必須の評価対象項目とし、この他に適宜項目を追加して評価するものとする。
ただし、評価対象項目は最大8項目とする。

III. 出来ばえ 修繕工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対 該
象 当 【評価対象項目】

小構造物等にも細心の注意が払われている。

きめ細かな施工がなされている。

既設構造物とのすりつけが良い。

全体的な美観が良い。

●判断基準

該当3項目以上・・・ a

該当2項目・・・ b

該当1項目・・・ c

該当項目なし・・・ d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

機械設備工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>対該象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の機能及び性能が、承諾図書のとおり確保され、品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の機能及び性能に係わる成績書が整理され、品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備について、操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性にすぐれていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 操作制御設備の安全装置及び保護装置の機能・性能確認試験について、試験書類を整理し品質の確認ができる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の取扱説明書を工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 完成図書（取扱説明書）に部品等の点検及び交換方法について、まとめていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 設備の構造や機器の配置が、交換頻度の高い部品等の交換作業を容易にできるよう工夫していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 回転部や高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>※ 評価値が90%以上・・・a</p> <p>※ 評価値が80%以上 90%未満・・・a'</p> <p>※ 評価値が70%以上 80%未満・・・b</p> <p>※ 評価値が60%以上 70%未満・・・b'</p> <p>※ 評価値が60%未満・・・c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div>						

III. 出来ばえ

機械設備工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
<p>対該象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 全体的な美観が良い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当4項目以上・・・a</p> <p>該当3項目・・・b</p> <p>該当2項目・・・c</p> <p>該当1項目以下・・・d</p>			

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

電気設備工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該
象 当 【評価対象項目】

- 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。
- 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。
- 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおりに配置され、操作性に優れていることが確認できる。
- ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。
- 設備の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。
- 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。
- 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。
- 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。
- 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。
- その他 理由：

●判断基準

- ※ 評価値が90%以上・・・a
- ※ 評価値が80%以上 90%未満・・・a'
- ※ 評価値が70%以上 80%未満・・・b
- ※ 評価値が60%以上 70%未満・・・b'
- ※ 評価値が60%未満・・・c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

III. 出来ばえ 電気設備工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該
象 当 【評価対象項目】

- きめ細やかな施工がなされている。
- 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。
- 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能及び運用性が良い。
- ケーブル等の接続方法及び収納状況が適切である。
- 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該
象 当 【評価対象項目】
[電気]

- 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。
- 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。
- 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。
- 設備全体としての運転性能が所定の能力を満足していることが確認できる。
- 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。
- 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。
- 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。
- 設備全体についての取扱説明書を工夫していることが確認できる。
- 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。
- 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。
- その他 理由：

●判断基準

- ※ 評価値が90%以上・・・a
- ※ 評価値が80%以上 90%未満・・・a'
- ※ 評価値が70%以上 80%未満・・・b
- ※ 評価値が60%以上 70%未満・・・b'
- ※ 評価値が60%未満・・・c

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

III. 出来ばえ 通信設備工事・受変電設備工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該
象 当 【評価対象項目】

- 主設備、関連設備等にきめ細かな施工がされている。
- 公共物として、安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。
- 動作状態において、電氣的及び機械的な異常が無く、総合的な機能や運用が良い。
- 当該設備及び関連設備が全体的に協議及び統制され、総合的な性能向上への配慮がなされている。
- 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当5項目以上・・・a
- 該当4項目・・・b
- 該当3項目・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

建築工事

a	a'	b	b'	c	d	e		
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。		
<p>対該 象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の品質が、製作図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の各段階における完了時の試験及び記録の方法が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料の品質確認記録の内容が、適切であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 品質の確認結果が、分かりやすく整理されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工の品質が適切であり、設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 建具、ユニット等の性能及び機能に関する確認方法が適切であり、記録の内容が設計図書を満足していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 躯体工事における施工の品質が、施工記録により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 内外仕上げ工事における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他の工事（躯体・内外仕上げを除く）における施工の品質が、施工記録等により確認でき、良好であることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 不可視部分となる品質が、工事写真、施工記録により確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 中間検査や既済検査での工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> その他 理由：</p> <p>●判断基準</p> <p>※ 評価値が90%以上・・・a</p> <p>※ 評価値が80%以上 90%未満・・・a'</p> <p>※ 評価値が70%以上 80%未満・・・b</p> <p>※ 評価値が60%以上 70%未満・・・b'</p> <p>※ 評価値が50%以上 60%未満・・・c</p> <p>※ 評価値が50%未満・・・d</p>								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p> </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>							<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p>	
<p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p>								

III. 出来ばえ 建築工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
<p>対該 象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> きめ細かな施工がなされ、取り合いの納まりや端部まで仕上がりが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 関連工事（工種）等又は既存部分との調整がなされ、調和が良い仕上がりにある。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 使い勝手や使用者の安全に対する配慮に優れている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仕上がりの状態が良好で、作動状態も良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 色調が均一であり、色むら等が無く、全体的な美観が良好である。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 材料・製品の割付や通り等が良く、全体的な出来ばえが良好である。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当6項目以上・・・a</p> <p>該当4項目以上・・・b</p> <p>該当3項目・・・c</p> <p>該当2項目以下・・・d</p>			

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

管水路工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 材料、部品の品質照合の書類（現物照合）が整理され、品質の確認ができる。
- 製品の機能及び性能が確保され、品質の確認ができる。
- 管材、部品、製品等が適切に保管されていることが確認できる。
- 埋戻土毎の深さ（厚さ）、幅等が確認でき、設計図書に基づく適正な施工が確認できる。
- 管の埋設深、中心線の通り及び埋設位置が適切で品質の確認ができる。
- 弁類、機器等の設置位置並びに施工が適切で品質の確認ができる。
- 管接合の適切な処理がなされ、接合（ジョイント間隔等）も適正な施工で品質の確保ができる。
- 付帯施設（スラストブロックなど）が設計図書に基づき適切に施工されて品質の確認ができる。
- 設計図書等に基づくコンクリートの材料・配合が、工場の試験成績書・配合報告書で適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）であることが確認できる。
- コンクリート受入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- コンクリートの打設前に、打継目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の加工及び組立が設計図書を満足していることが確認できる。
- コンクリート打設まで、錆、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
- コンクリート構造物の養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 通水試験の結果が適正であることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値 90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 管水路工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 管の埋設位置が適切である。
- 給水栓の設置について、細やかな施工がなされて出来ばえが良い。
- 既設土木構造物・既設設備等とのすりつけが良い。
- 弁類、機器類の設置位置並びに施工の仕上がりが良い。
- 構造物等の仕上がりが良い。
- 舗装復旧に凹凸もなく仕上がりが良い。
- 全体的な出来ばえが良い。

●判断基準

- 該当6項目以上・・・a
- 該当4項目以上・・・b
- 該当3項目・・・・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

畑地かんがい工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 材料・部品の品質照合の書類（現物照合）が整備され、品質が確認できる。
- 管材、部品、製品等が適切に保管されていることが確認できる。
- 埋戻し土毎の深さ（厚さ）、幅等が確認でき、設計図書に基づく適正な施工で品質が確認できる。
- 管の埋設深、中心線の通り及び埋設位置が適切で品質の確認ができる。
- 弁類、機器等の設置位置並びに施工が適切で品質の確認ができる。
- 管接合面の適正な処理がなされ、接合（ジョイント間隔等）も適正で品質の確認ができる。
- 付帯施設（スラストブロックなど）が設計図書に基づき適切に施工されて品質が確認できる。
- 給水栓で適正な水圧が確認され、適切な散水も確保できていることが確認できる。
- 散水施設の散水状況が適切かつ良好な品質が確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C	C
	60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

畑地かんがい工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- きめ細かな施工がなされている。
- 管の埋設位置が適切である。
- 給水栓の設置について、細やかな施工がなされて出来ばえが良い。
- 既設土木構造物・既設設備等とのすりつけが良い。
- 弁類、機器等の設置位置並びに施工の仕上がりも良い。
- 構造物等の仕上がりが良い。
- 散水施設（スプリンクラー）等の配置が適切で施工の仕上がりも良い。
- 全体的な出来ばえが良い。

●判断基準

- 該当7項目以上・・・a
- 該当5項目以上・・・b
- 該当3項目以上・・・c
- 該当2項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

【一般事項関係】

施工区域内の地表水及び地下水を排除し、ドライの状態が確認できる。

【整地関係】

- 石礫、根株など雑物の除去が丁寧にされていることが確認できる。
- 表土剥ぎ取り、基盤切盛、基盤整地が適正な施工がなされていることが確認できる。
- 表土戻しが適切に施工され、表土整地も良く、暑さも均一で良好な品質であることが確認できる。
- 畦畔の仕上げが良いことが確認できる。
- 盛土の転圧が設計図書に基づき適正で、品質管理も適正に実施されて良好な品質が確認できる。
- 切土・盛土法面が設計図書に基づく適正な勾配で仕上がり、法面の安定が確保されて品質の確認ができる。
- 法面に有害な雑物やクラック、損傷もなく、設計図書に基づき適正な施工が確認できる。
- 進入路が営農に支障がないように設置されていることが確認できる。
- 地下水・湧水処理の暗渠排水が設計図書に基づき適切に施工され、品質も確認できる。
- その他 理由：

【道路関係】

- ほ場への乗入れや地区内外農業との取り合い等現場条件に合致した施工がなされていることが確認できる。
- 道路築立の締固め・転圧が十分に行われていることが確認できる。
- 設計図書に基づき幅員が確保され、法面など良く仕上がっていることが確認できる。
- 舗装が設計図書に基づき適切に施工されていることが確認できる。
- その他 理由：

【用排水路関係】

- 水路の縦断勾配等については、ほ場面標高等を総合的に考慮した施工がなされていることが確認できる。
- 製品や構造物等に有害なクラック等がない。
- 二次製品とコンクリート取付け部は、きめ細やかな施工がなされている。
- 水路の目地の施工が確実にされている。
- 水路構造物の埋戻し・締固めが適切に行われている。
- 水路畦畔と法面等は、雑物等を取り除き入念に締固められ、丁寧に施工されている。
- ほ場取水工、ほ場排水工の位置や高さは、営農に支障がないように適正に設置されている。
- ほ場取水工、ほ場排水工のパイプ等の取付け部は、モルタル等で丁寧に間詰めがなされている。
- その他 理由：

【二次製品関係】

- 製品等の規格・寸法が設計図書で定められた製品等で、欠損・損傷等がないことが確認できる。
- ブロック積コンクリートの胴込め・裏込めコンクリートが適切に施工していることが確認できる。
- 二次製品据付において、敷モルタル等の適正な施工で一点支持でないことが確認できる。
- 施工基面が入念な施工で、平滑に仕上げられていることが確認できる。
- 基礎工、裏込め工、収縮目地、接合モルタル等の施工が適切かつ確実に施工されていることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

ほ場整備工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 表土に雑物や石礫の混入が認められない。
- 表土の坪平度が良い。
- 畦畔の通り・仕上げが良い。
- 道路工、用・排水路の土工の仕上げが良い。
- 用・排水路が現場条件にあった施工がなされ、通日も良い。
- 付帯コンクリート構造物にクラックがなく丁寧に仕上げられている。
- ほ場進入路、ほ場取水工、ほ場排水工が適切に施工されている。
- きめ細かな施工がされている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当8項目以上・・・a
- 該当6項目以上・・・b
- 該当3項目以上・・・c
- 該当2項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対 該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

【土工関係】

- 雨水・湧水等による法面崩壊防止や路床・路盤等への悪影響を防止するための対策を提案し、その対策を実施したことが確認できる。
- 施工段階において、適切な段切りや抜根等を適切に施工がなされて品質が確保されていることが確認できる。
- 路床置換工の掘削に当たり、路床面以下を乱さないように丁寧に施工されて品質が確認できる。
- 盛土の転圧が設計図書に基づき適切に施工され、品質管理も適切に実施されて良好な品質が確認できる。
- 切土・盛土法面が設計図書に基づき適正な勾配で仕上がり、法面の安定が確保されて品質の確認ができる。
- 法面に有害な雑物やクラック、損傷等もなく、設計図書に基づき適正な施工が確認できる。
- 構造物等の基礎やその周囲の埋戻しが規定された厚さのもと、締固め等が適切で雑物等の混入もなく、均一に仕上がるなど品質が確認できる。
- 土砂流出防止対策を実施して下流域の環境保全を図りながら、適正な施工で品質の確認ができる。
- その他 理由：

【コンクリート構造物関係】

- 設計図書等に基づくコンクリートの材料・配合が、工場の試験成績書・配合報告書で適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）であることが確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- コンクリートの打設前に、打継目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
- コンクリート打設までに錆、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする。）
- その他 理由：

【路床・路盤工関係】

- 設計図書に定められた試験方法で現場CBR値を測定していることが確認できる。
- 路床及び路盤工のブルフローリングを行っていることが確認できる。
- 路体・路床の砂置換法による土の密度試験を実施して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 路床盛土において、一層の仕上がり厚さを20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工していることが確認できる。
- 路床盛土において、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。
- 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤面の浮石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- 路盤の現場密度が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 特別仕様書の規定により実施した平板載荷試験が、仕様を満足していることが確認できる。
- 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。
- その他 理由：

【アスファルト舗装関係】

- アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。
- 舗装工の施工に当たり、上層路盤面の浮石などの有害物を除去していることが確認できる。
- ブラント出荷時、現場到着時、舗装時（初期締固め前）等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
- 舗装後の交通開放が、定められた条件を満足していることが確認できる。
- 既存・新設構造物等との取合いや接合の処理が適切で、安全な通行が確保されていることが確認できる。
- アスファルト混合物の運搬及び舗装に当たり、気象条件に配慮していることが確認できる。
- 密度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

【コンクリート舗装工関係】

- 設計図書等に基づくコンクリートの材料・配合が、工場の試験成績書・配合報告書で適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）であることが確認できる。
- 舗装工の施工に先立ち、上層路盤面の浮石等の有害物を除去してから施工していることが確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 運搬時間、打設方法及び養生方法が、施工条件及び気象条件に適しており、設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
- 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。
- チェアー及びタイヤに損傷などが発生しないよう保管していることが確認できる。
- その他 理由：

【二次製品関係】

- 製品等の規格・寸法が設計図書で定められたもので、欠損・損傷等がないことが確認できる。
- 施工基面が入念な施工で、平滑に仕上げられていることが確認できる。
- 二次製品据付において、敷モルタル等の適正な施工で一点支持でないこと確認できる。
- 基礎工、裏込め工、収縮目地、接合モルタル等の施工が適正かつ確実に施工されていることが確認できる。
- ブロック積コンクリートの胴込め・裏込めコンクリートが適切に施工していることが確認できる。
- その他 理由：

【法面工関係】

- 土壌試験の結果を施工に反映させて施工していることが確認できる。
- 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 金網などの境界に隙間がなく、破損もなく、重ね幅も確保されていることが確認できる。

- 施工時期等が適切で、吹付工法の目的を確実に達成し、良好な品質であることが確認できる。
- 吹付け量が均一であることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

Ⅲ. 出来ばえ 農道工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。
- 関係構造物等との取り合いが適切に行われている。
- 残土処理が適切に行われている。
- 法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。
- コンクリート構造物の肌が良い。
- 付帯構造物に影響を与えるクラックがなく丁寧に仕上げられている。
- 路面の平坦性が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当7項目以上・・・a
- 該当5項目以上・・・b
- 該当3項目以上・・・c
- 該当2項目以下・・・d

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

【堤体工関係】

- 基礎地盤の処理は仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。
- 工事中の排水処理は、適切に行われていることが確認できる。
- 築堤材料は適切に管理され、堤体盛土のまき出し・転圧は適切に施工されていることが確認できる。
- 湧水処理は適切に施工されていることが確認できる。
- 地山及び構造物周辺の埋戻し、盛土転圧が入念に施工されていることが確認できる。
- 旧底樋の処理は適切に行われていることが確認できる。
- 品質管理は設計図書に基づき時期を失わず適切に行われていることが確認できる。
- 材料の締固め試験、土粒子の密度試験と施工における土の含水比試験、現場密度試験が実施され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 施設の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

【コンクリート構造物関係】

- 設計図書等に基づくコンクリートの材料・配合が、工場の試験成績書・配合報告書で適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）であることが確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- コンクリートの打設前に、打継目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
- コンクリート打設までに錆、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- スペースの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする。
- 土砂流出防止対策を実施して下流域の環境保全を図りながら、適正な施工で品質の確認ができる。
- その他 理由：

【二次製品関係】

- 二次製品等の規格寸法が仕様書等で定められた製品等であり、欠損等がないことが確認できる。
- 製品や構造物等に有害なクラック等が無いことが確認できる。
- 二次製品とコンクリート取付け部は、きめ細やかな施工がされている
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 土工の仕上げがよい。
- 土工の構造物等へのすりつけがよい。
- 吹き付け（植生、コンクリート等）状態が均一である。
- コンクリート構造物の肌がよい。
- コンクリート構造物の通りがよい。
- 天端仕上げ、端部仕上げがよい。
- 付帯コンクリート構造物にクラックが無い。
- 漏水がない。
- 施設の通りがよい。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。
- 全体的な美観がよい。

●判断基準

コンクリート工事が含まれる場合

- 該当10項目以上・ a
- 該当 6項目以上・ b
- 該当 3項目以上・ c
- 該当 2項目以下・ d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

ため池工事（コンクリート工事が無い場合）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

【堤体工関係】

- 基礎地盤の処理は仕様書に基づき適切に施工されていることが確認できる。
- 工事中の排水処理は、適切に行われていることが確認できる。
- 築堤材料は適切に管理され、堤体盛土のまき出し・転圧は適切に施工されていることが確認できる。
- 湧水処理は適切に施工されていることが確認できる。
- 地山及び構造物周辺の埋戻し、盛土転圧が入念に施工されていることが確認できる。
- 旧底樋の処理は適切に行われていることが確認できる。
- 品質管理は設計図書に基づき時期を失せず適切に行われていることが確認できる。
- 材料の締固め試験、土粒子の密度試験と施工における土の含水比試験、現場密度試験が実施され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 施設の総合性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

【二次製品関係】

- 二次製品等の規格寸法が仕様書等で定められた製品等であり、欠損等がないことが確認できる。
- 製品や構造物等に有害なクラック等が無いことが確認できる。
- 二次製品とコンクリート取付け部は、きめ細やかな施工がされている。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C	C
	60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

ため池工事（コンクリート工事が無い場合）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 土工の仕上げがよい。
- 土工の構造物等へのすりつけがよい。
- 吹き付け（植生等）状態が均一である。
- 漏水がない。
- 施設の通りが良い。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。
- 全体的な美観がよい。

●判断基準

コンクリート工事が無い場合

- 該当6項目以上・・・a
- 該当4項目以上・・・b
- 該当2項目以上・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

用排水路工事（二次製品工事以外が含まれる場合）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 設計図書等に基づくコンクリートの材料・配合が、工場の試験成績書・配合報告書で適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩化物総量・単位水量・アルカリ骨材反応抑制等）であることが確認できる。
- コンクリート受け入れ時に必要な試験を実施しており、温度、スランプ、空気量等の測定結果が確認できる。
- 圧縮強度試験に使用したコンクリート供試体が、当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件や気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ及び締固め方法が、定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠及び支保工の取り外しを行っていることが確認できる。
- コンクリートの打設前に、打継目処理を適切に行っていることが確認できる。
- 鉄筋の品質が、証明書類で確認できる。
- コンクリート打設までに錆、どろ、油等の有害物が鉄筋に付着しないよう管理していることが確認できる。
- 鉄筋の加工及び組立が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。
- 水路の伸縮目地、止水板の設置等が適正であることが確認できる。
- コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- スーパーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 二次製品等の規格寸法が仕様書等で定められた製品等であり、欠損等がないことが確認できる。
- 二次製品とコンクリート取付け部は、きめ細やかな施工がされている。
- 水路並びに構造物の埋戻し・締固めが適切に行われていることが確認できる。
- 水路畦畔や法面等は雑物等を取り除き、入念に締固めされ、丁寧に施工されていることが確認できる。
- ほ場取水工、ほ場排水工のパイプ等の取付け部は、モルタル等で丁寧に間詰めがされていることが確認できる。
- ほ場取水工、ほ場排水工の位置や高さは、営農に支障がないように適正に設置されている材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確保ができる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。（「進行性又は有害なクラックがある」場合、無処理にしていた場合は状況に応じてd又はe評価とする。
- 土砂流出防止対策を実施して下流域の環境保全を図りながら、適正な施工で品質の確認ができる。
- 現地状況を勘察し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組み、品質の良さが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

用排水路工事（二次製品工事以外が含まれる場合）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 土工の仕上げがよい。
- 土工の構造物等へのすりつけがよい。
- 土工の通りが良い。
- コンクリート構造物の肌が良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- コンクリート二次製品の通りが良い。
- コンクリート二次製品にクラックが無い。
- 水路内に土砂が堆積していない。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。
- 全体的な美観がよい。

●判断基準

二次製品工事以外が含まれる場合

該当10項目以上・・・a

該当6項目以上・・・b

該当3項目以上・・・c

該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

用排水路工事（二次製品工事）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 水路の伸縮目地、止水板の設置等が適正であることが確認できる。
- 二次製品等の規格寸法が仕様書等で定められた製品等であり、欠損等がないことが確認できる。
- 二次製品とコンクリート取付け部は、きめ細やかな施工がされている。
- 水路並びに構造物の埋戻し・締固めが適切に行われていることが確認できる。
- 水路畦畔や法面等は雑物等を取り除き、入念に締固めされ、丁寧に施工されていることが確認できる。
- ほ場取水工、ほ場排水工のパイプ等の取付け部は、モルタル等で丁寧に間詰めがされていることが確認できる。
- ほ場取水工、ほ場排水工の位置や高さは、営農に支障がないように適正に設置されている材料、部品の品質照合の書類（現物照合）を整理し品質の確保ができる。
- 進行性又は有害なクラックが無い。
- 土砂流出防止対策を実施して下流域の環境保全を図りながら、適正な施工で品質の確認ができる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	
	50%以下	80%以下	80%を超える		
評価値	90%以上	a	a'	b	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c	c
	60%未満	b'	c	c	c

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ 用排水路工事（二次製品工事）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 土工の仕上げがよい。
- 土工の構造物等へのすりつけがよい。
- 土工の通りが良い。
- コンクリート二次製品の通りが良い。
- コンクリート二次製品にクラックが無い。
- 水路内に土砂が堆積していない。
- 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さが確認できる。
- 全体的な美観がよい。

●判断基準

- 二次製品工事の場合
- 該当7項目以上・・・a
- 該当5項目以上・・・b
- 該当2項目以上・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

上水道工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 管渠の規格、品質がミルシートで確認できる。
- 弁筐等用品の規格、品質がミルシートで確認できる。
- 管渠の接合状況が確認できる。（継手チェックシート、写真）
- コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
- コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 各種管継手が継手チェックシートにより正確に測定管理され、尚且つ施工写真が整っている。
- 仕様書に規定したテストバンドが適正に測定され、測定結果及び施工写真が整理されている。
- 防食措置（ポリエチレンシート・塗覆装等）が適切に施工され、その事が容易に工事写真から判断できる。
- 弁室及び管防護コンクリートの基礎及びコンクリート工が適切に施工されている。
- 不断水連絡工事において、施工時水圧試験を実施し適切に施工されている。
- 鋼管の溶接及び切断の品質管理に関して仕様書や品質管理基準に定められた事項が確認できる。
- アスファルト舗装の温度管理が適切に行われている。
- アスファルトのコア採取による品質管理が適切に行われている。
- 路盤施工で締め密度（砂置換法）等の試験を行っている。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 弁室や弁・栓きょうのブロック及び鉄蓋に傾き、ガタつきが無い。
- 弁室や弁・栓きょうにクラック等が無い。
- 全体的な美観がよい。
- 施工管理記録簿等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。
- 舗装施工で、既設舗装及び蓋・構造物とのすり付け状況が良く、かつ表面の仕上がりや雨水処理が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・ a
- 該当3項目・・・・・・ b
- 該当2項目・・・・・・ c
- 該当1項目以下・・・ d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

下水道工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

〔 共通 〕

- マンホール用品の規格・品質がミルシートで確認できる。
- 管渠の規格・品質がミルシートで確認できる。
- 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・W/C・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。
- コンクリート打設時の必要な供試体を採用し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
- コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。
- 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のパンプの機種、養生方法等、適切に行っている。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）
- 施工状況における品質管理を試験成績表等で確認できる。
- 工事写真により不可視部分の確認ができる。
- 施工管理記録、試験結果表が適切にまとめられている。
- 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っている。
- 二次製品の現場組立及び据付が仕様書に基づき適正に行われたことが確認できる。
- その他 理由：

〔 開削工 〕

- 管の吊り込み、据付が適切に施工されていることが確認できる。
- 管基礎において枕胴木等に適切な材料が使用されていることが確認できる。
- 管の切断が適切な方法で行われていることが確認できる。
- 支管取付の施工が適切に行われていることが確認できる。
- 取付管が適切に施工（接合・配管状況を含む）されていることが確認できる。
- 管材等の工事用資材が適切に保管されていることが確認できる。
- 締め目を適切な条件で施工しており、管の周辺に空隙が生じていない。
- 混合物の温度管理が、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されている。
- 管渠の接合状況が良好であることが確認できる。

〔 管更生工 〕

- 裏込材の注入量等が適切に管理されており、計画注入量以上で空隙がないことが確認できる。（製管工法）
- 硬化時の施工管理が適切に実施され、記録等により確認できる。（自立管）
- 管内面の平滑性が良く、きず、ねじれ、しわ等がないことが確認できる。
- 管更生材料（ライニング）が適正に搬入・保管されたことが確認できる。（自立管）

〔 推進工 〕

- 測量及び観測結果を毎日整理し、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。
- 常に切羽及び地表面の状態を観測して施工されていることが確認できる。
- 推進作業等がデータで確認できる。
- 地盤改良工の施工管理状況がデータで確認できる。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	a	a'	b	b
	a'	b	b'	b'
	b	b'	C	C
	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

下水道工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該象 当 【評価対象項目】

- 管渠の通りが良い。
- 管口の処理が良い。
- インパートの仕上げが良い。
- 人孔蓋、樹蓋等は路面となじみが良い。
- 足掛け金物等が等間隔、水平、所定の埋め込み長で施工されている。
- 組立マンホール、ブロック等の目地等から漏水がない。
- 取付管の削孔状況が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当7項目以上・・・a
- 該当5項目以上・・・b
- 該当3項目以上・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

仮設工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<p>対 該 象 当 【評価対象項目】</p> <p>[共 通]</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設材にそり、ゆがみ、傷がない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設材の組立・設置が確実になされ、かつ点検も行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 周辺環境（騒音・振動・地盤変動等）に配慮した施工方法で実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 施工記録等により設計条件に適合した根入れ長で施工されていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 排水を考慮し、良好な床付け面を確保している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 路面覆工の横断方向端部に覆工板ずれ止め材を取り付けられている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 河積阻害や河川管理施設等の洗掘を避ける施工がなされている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 道路の建築限界を侵していない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 埋戻しの施工前に排水が確実に行われているか、締固めを適切な条件で施工している。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設鋼矢板、親杭、支持杭、地中連続芯材等が所定の位置に精度よく設置されている。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> タイロッド・切梁・腹起しが一様に働くよう設置されている。</p> <p>●判断基準</p> <p>評価値が90%以上 a</p> <p>評価値が80%以上90%未満 . . . a'</p> <p>評価値が70%以上80%未満 . . . b</p> <p>評価値が60%以上70%未満 . . . b'</p> <p>評価値が60%未満 c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。</p> </div>						

III. 出来ばえ

仮設工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている
<p>対 該 象 当 【評価対象項目】</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼矢板・親杭の通りが良い。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 覆工板にがたつきがない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 覆工板と路面に段差・隙間が生じていない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 鋼矢板のかみ合わせ等不良部分がない。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 床付け面の仕上げがよい。</p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 仮設H鋼・矢板の打ち込み、引抜による地盤の変状が無い。</p> <p>●判断基準</p> <p>該当5項目以上 . . . a</p> <p>該当4項目 b</p> <p>該当3項目 c</p> <p>該当2項目以下 . . . d</p>			

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

土工事（区画整理）

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

〔 共通 〕

- 伐開・除根作業により発生した伐開木、根株、枝条等が適切に処理されている。
- 仮設道路、仮排水路等は設計図書により施工・管理されており、その出来形についても適切に管理され設計以上であることが確認できる。
- 雨水等による崩落、土砂の流亡等を防止するための排水対策が実施されている。
- 表土のはぎ取りにあたり、雑物等が混入しないよう注意すると共に、表土の基礎への混入や逸散の防止等に細心の注意を払って施工されている。
- 造成、整地等は設計図書等に基づき施工されており、仕上がりについては基準値を余裕をもって満足している。
- 道路の造成にあたり、横断勾配、土質等について設計図書等に基づき適切に施工されており、仕上がりについても基準値を余裕をもって満足している。
- 土壌改良に使用する肥料は法律に基づく保証票が確認でき、施工は仕様書等に基づき細心の注意を払っている。
- 畦畔、溝畔等は設計図書に基づき施工されており、仕上がりは規格値を余裕をもって満足している。

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

〔関連基準、土工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験〕

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

土工事（区画整理）

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 切盛の勾配が確保され、法面の仕上げがよい。
- 整地、均平の仕上げがよい。
- 畦畔、溝畔等の仕上げがよい。
- 構造物へのすりつけがよい。
- 植生、吹き付け等の状態が均一である。
- 排水路の通りが良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当6項目以上・・・a
- 該当4項目以上・・・b
- 該当3項目・・・・・・c
- 該当2項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

上記以外の工事（情報ボックス、浚渫工等）又は合併工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 理由：

<A>対象工事がばらつきによる評価が不適切な工事（例えば、浚渫工、取壊し工等）

●判断基準

- ※ 評価値が90%以上・・・a
- ※ 評価値が80%以上 90%未満・・・a'
- ※ 評価値が70%以上 80%未満・・・b
- ※ 評価値が60%以上 70%未満・・・b'
- ※ 評価値が60%未満・・・c

対象工事がばらつきによる評価が適切な工事

- ① 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、計算した比率(%)計算の値で評価する。
- ② 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ③ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能		
	50%以下	80%以下	80%を超える
90%以上	a	a'	b
75%以上90%未満	a'	b	b'
60%以上75%未満	b	b'	C
60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

上記以外の工事（情報ボックス、浚渫工等）又は合併工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該 象 当 【評価対象項目】

- 理由：
- 理由：
- 理由：
- 理由：
- 理由：

※該当工種からの評価対象項目で評価を行う。ただし、評価対象項目は最大5項目とする。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目以上・・・b
- 該当2項目・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

道路改良舗装工事等

(設計金額が概ね2,000万円未満の側溝整備、歩道設置、道路改良等)

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

[土工・法面工]

- 掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。
- 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。
- 構造物周辺の締固めを適正に行なっていることが確認できる。
- 吹き付け厚さが均等であることが確認できる。

[舗装工]

- 路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- プラント出荷時、現場到着時、舗設時等において、アスファルト混合物の温度管理を記録していることが確認できる。
- 舗装の平坦性が確保されているとともに、表面排水が良好である。
- 構造物への摺り合わせ、段差の解消等、利用者へ配慮した施工が伺える。

[ブロック積み・コンクリート二次製品、排水施設工事]

- 使用材料の規格が品質証明等で確認できる。
- 使用材料に破損がなく、適切に施工されている。
- 製品の連結、かみ合わせが適切に施工され、水密性等必要な機能が確保されている。
- 基礎碎石、裏込碎石が所定の厚さ、寸法で締固められ、状況が確認できる。

[道路付属施設工]

- 使用材料の規格が品質証明書等で確認できる。
- 施設の設置位置が適切であり、ボルトの締付等、部材の取付状況が適切であることが確認できる。
- 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定を満足していることが確認できる。

[区画線設置工]

- 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 区画線施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- 区画線の施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行なっていることが確認できる。
- 区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。
- ブライマーの施工にあたっては、路面に均等に塗布していることが確認できる。
- 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は○評価とする。

[関連基準、土工工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4 参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	C
	60%未満	b'	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

道路改良舗装工事等

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 通りが良い。
- 端部処理が良い。
- 既設構造物との摺り付けが良い。
- きめ細やかに施工されている。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

- 該当4項目以上・・・a
- 該当3項目以上・・・b
- 該当2項目・・・c
- 該当1項目以下・・・d

3. 出来形及び出来ばえ

II. 品質

排水施設工事

a	a'	b	b'	c	d	e
優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。

対該品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。〈判断基準参照〉

象 当 【評価対象項目】

- 仕様材料の規格が品質証明書等で確認できる。
- 仕様材料に破損がなく、適切に施工されている。
- 施工基面に凹凸がなく平滑に仕上げられている。
- 暗渠工においては目立った屈曲や沈下、クラックや変形がない。
- 暗渠工の施工において、施工状況、材料の延長等が写真で確認できる。
- 側溝工において、継目部の施工は、付着、水密性を保ち段差がない。
- 横断工において、路面勾配に合わせ、なじみよく設置されている。
- 均しコンクリートが、沈下、滑動、不陸等が生じないよう所定の寸法どおり施工されている。
- 基礎砕石等が所定の厚さ、寸法で締固められ、施工状況が確認できる。
- 構造物周辺の埋め戻し、締め固め等の処理が適切に行なわれている。
- その他 理由：

- ① 当該「評価対象項目」のうち、評価対象外の項目は削除する。
- ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として、比率(%)計算の値で評価する。
- ③ 評価値(%) = 該当項目数() / 評価対象項目数() × 100
- ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

[関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験]

※ ばらつきの判断は別紙-4参照

- ばらつきが概ね50%以下
- ばらつきが概ね80%以下
- ばらつきが概ね80%を超える
- ばらつきで判断不可能

●判断基準	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	C	C
60%未満	b'	C	C	C

注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目（評価値）だけで評価する。

III. 出来ばえ

排水施設工事

a	b	c	d
優れている	やや優れている	他の評価に該当しない	劣っている

対該

象 当 【評価対象項目】

- 土工の仕上げが良い。
- 土工の通りが良い。
- 土工の構造物等へのすりつけが良い。
- コンクリート構造物の通りが良い。
- 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。
- 全体的な美観が良い。

●判断基準

該当5項目以上・・・a

該当4項目以上・・・b

該当3項目・・・c

該当2項目以下・・・d